

平成 26 年度 第 2 回 田辺市子ども・子育て会議「量の見込み検討部会」会議録	
開催日時	平成 26 年 10 月 21 日 (火) 午後 7 時 30 分～午後 8 時 30 分
開催場所	田辺市民総合センター 2 階 青少年ホール
内 容	(1) 「子ども・子育て支援事業の量の見込みについて」 (2) その他 「国のイメージする利用者負担について」
出席委員	竹中部会長 一ノ瀬委員 榎本委員 魁委員 計 4 名
欠席委員	津田委員 新谷委員 計 2 名
部外委員	堀切委員長 計 1 名
出席職員	保健福祉部 田中保健福祉部長 松場子育て推進課長 虎伏子育て推進課参事 狩谷保育係長 平こども家庭係長 教育委員会 木下学校教育課長 木村指導主事
報道関係者	なし
傍聴者	なし
事務局	お昼間お仕事等でお疲れのところ、ご参集いただきましてありがとうございます。 ご案内の時間となりましたので、ただいまより平成 26 年度第 2 回田辺市子ども・子育て会議「量の見込み検討部会を開催させていただきます。 それでは、開会にあたりまして、検討部会 竹中部会長さんご挨拶をお願いいたします。
部会長	～～～挨拶～～～
事務局	ありがとうございます。 ここで、本日の資料の確認をさせていただきます。 本日の資料は、先にお送りさせていただいております、資料 1 及び参考資料の 2 部でございます、お持ちいただいておりますでしょうか。

	<p>この会議は、子ども・子育て会議傍聴規程に基づき、特別な事情のない限り傍聴を許可することとさせていただきます。</p> <p>また、議事録要旨作成のため録音することについてもご了解いただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、会議に入らせていただきます。</p> <p>竹中部会長よろしくお願ひいたします。</p>
部会長	それでは、議事の1番目「子ども・子育て支援事業の量の見込み」(案)について事務局説明をよろしくお願ひいたします。
事務局	～～事務局説明～～
部会長	事務局から説明がありましたが、委員の皆さんご質問ございませんか。
堀切部外委員	子育て援助活動支援事業については、きつぱーくが実施しているファミリーサポートセンター事業がありますが、認知度が低いという結果が出ているようです。このことについて、今後はどのように周知を図っていく予定ですか。
事務局	ファミリーサポートセンター事業の周知については、市の広報を始め、今後も機会をみて、引き続き周知に努力してまいりたいと考えております。
部会長	放課後児童健全育成事業と妊婦健診以外は数値が下がるような計画となっているが、これでいいのか。
事務局	平成27年度から平成31年度にかけて、児童数が減少傾向にあるため、各事業の目標量は横ばい及び減少するという数値となっております。
部会長	11頁の数値と13頁の数値が違うが、どのような違いがあるのか。
事務局	11頁の数値は、国の手引きによって算出されたニーズ調査見込み量でありますが、この数値については、現実の数値とかけ離れたケースもあるため、12頁にお示ししているように、補正をしております。補正後の

	数値が13頁となっております。 子ども・子育て支援事業として、P12 にあるように「利用者支援事業」から妊婦健診までの 11 事業について、量の見込みの基本的な考え方についていかがでしょうか。
	～～なし～～
部会長	特に無いようありましたら、基本的な考え方に基づき各事業の目標量を設定することとしてよろしいでしょうか。
	～～了承～～
部会長	それでは各事業の目標値についてこれで設定することとし、次回の子育て会議にて報告することいたします。
部会長	次にその他の項ですが、事務局からあるみたいですのでよろしくお願いします。
	「国のイメージする利用者負担について」（参考資料）
事務局	～～事務局説明～～
部会長	事務局から説明がありましたが、委員の皆さんご質問ございませんか。
A 委員	先日、紀南地域の私立幼稚園の会合があったが、新制度に移行しないのは、昭和幼稚園だけとなっている。新制度に移行しないということは、就園奨励費をいただくことができるという話しになるのですが、国の制度の就園奨励費補助の上限額は308,000円で、みなべ町の幼稚園ではこの額が適用されています。しかし、田辺市の上限額は、17,000円×12ヶ月 + 30,000円（入園料）の合計234,000円であり、田辺市の就園奨励費補助の上限額は、国の上限額より削減されている状況にある。 幼稚園が新制度に移行する、しないにかかわらず、保護者が幼稚園を利用する場合は、従来の負担と同等か軽減されるものでなければ、新制度を選択しない幼稚園を利用する保護者に対して不利益が生じることになる。このことを充分に認識した上で、就園奨励費補助の増額について

	<p>て、ご検討願いたい。この部分については、今ご回答ということではありません。</p> <p>また、別表の現行保育料（国・市比較表）を見ますと、国の基準より市の基準が安く設定されていることが分かります。</p> <p>その差額は市が負担しているということでよろしいですか。</p>
事務局	はい。その通りです。
A 委員	保育所部門の保育料は国の基準より低く設定していることで、保護者負担が軽減されているのですから、幼稚園についても、同様の取り扱いとなることを望みます。
部会長	それでは、事務局から説明がありましたが、今後利用者負担について、国がイメージする金額を上限として、田辺市として利用者負担を設定していくこととなり、協議が必要となれば、委員の皆さんで協議していただくこととなりますのでよろしく願いします。
	委員の皆さん方から何かございますか。
	～～なし～～
	無いようですので、これで第2回子ども・子育て会議「量の見込み検討部会」を終了いたします。
	委員の皆様方のご協力によりスムーズに会議の進行できました、ありがとうございました。